

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009.6/1
Vol.

12

ガバナー月信

2008～2009年度 国際ロータリー第2650地区テーマ「次の世代にときめきを」



目次●CONTENTS

故 西村二郎バスターガバナーを偲んで.....	2
地区大会開催にあたって.....	3
ガバナー補佐随想.....	5
RYLA 報告・4月の会員の動き.....	6
4月会員数の増減および出席率表.....	7



故 西村二郎パストガバナーを偲んで

RI 元理事・地区特別顧問 千 玄室
(京都 R.C.)

さる 5 月 4 日西村二郎パストガバナーが急逝されました。

昨年来肺がんを患われて手術もされ、秋には元気を取り戻して京都南 R.C. の例会にも出席しておられたのに、春先ごろから体調を崩され、遂に帰らぬ人となりました。

心からお悔やみを申し上げ、ご冥福をお祈りいたします。

京都南 R.C. は京都クラブに次ぐ古参クラブでありながら 1972 ～ 3 年に田中豊氏をガバナーに輩出されて以来、永年ガバナーが出ておられなかったのが、今から 10 数年前に私が「何とかして南からガバナーを出してほしい」と強く要請したことがありました。その願いに応じて、西村二郎さんが出てくださるらしいと小耳にはさんだので早速クラブへ出かけ説得して覚悟を決めていただきました。

西村二郎さんは、持ち前の生真面目さと熱意をもってガバナーノミニーの時から、当時のリチャード・キング国際会長の“mankind is our business”「人類が私たちの仕事」という難解なテーマの実現に向かって 2001 ～ 2 年、当 2650 地区の代表としての責務を全うされました。

京都南 R.C. でも満を持して出されたガバナーだけに 200 余名のクラブ会員が一丸となって地区運営に当たられ 2650 地区の名声を大いに高められました。

パストガバナーとなられてからはロータリー財団の指導者として素晴らしいリーダーシップを発揮され、とりわけ 2002 ～ 5 年 RI のポリオ撲滅募金活動キャンペーン委員・同日本委員会委員長に私が指名された際には日本委員会の副委員長として私を支えて下さり募金目標の達成に尽力していただきました。また地区研修リーダーとしても各ガバナーを助けて良き成果を挙げられました。

西村二郎パストガバナーのモットーは“医は仁術”と共に聖徳太子の“和を以って貴しと為す”とされ、かかわりを持たれたすべてのところまでまず「人の和」づくりに努力されたと聞いております。

一方筋の通らないことに対しては自己の信念に基づいて自説を曲げないという頑固さもありました。

自分の元気なうちに京都南 R.C. からもう一人ガバナーを出したいとの思いで、今西信裕氏を 2011 ～ 12 年のガバナーノミニーに推薦されそれが確定したところから体調を崩され今西ガバナーの晴れ姿を見ることなく逝かれたことはさぞ無念だったこととお察しいたします。

この上は京都南クラブの皆さんが再び一丸となって今西ガバナーを支えて 2650 地区をさらに発展させていただくよう期待します。それが西村二郎パストガバナーのご遺志に応えることと存じます。

今は蓮台の彼方におられる西村二郎パストガバナーの御霊の平安を祈念いたしますと共に奥様はじめご遺族ご一同のお悲しみがいやされることを願って追悼の辞といたします。

合掌

西村パストガバナーを偲んで

私どもが畏敬して已まない第 2650 地区パストガバナー西村二郎様の御逝去の訃報に接し、ここに謹んで哀悼の意を捧げます。

この度の西村パストガバナーのご逝去は、あまりにも急な出来事でありまして、私はただ言葉にならない悲しみに浸るばかりでございます。

ロータリアンの私どもにとりまして、大先輩の御他界は大きな指針を失ったことに等しく、茫然たる野で立ちすくんでいる思いがしておりますが、これにも増して奥様そして御家族の皆様にとってのお悲しみ、お力落しは如何ばかりかと御胸中を拝察しお慰めする言葉もございません。人の命数は是非なきものとは申しながら本当に無念の思いでいっぱいでございます。

西村様を偲び、ロータリー歴の一部をご紹介します。1971 年 4 月 1 日京都南ロータリークラブに入会され、1992 年にはクラブの会長、そして 2001~2002 年には第 2650 地区ガバナーとして御活躍になり、パストガバナー就任後の 2002~2005 年にはポリオ撲滅募金活動キャンペーン日本委員会委員としてポリオ撲滅に尽力されました。また、地区諮問委員として、地区ロータリー財団委員長、地区研修リーダー、年次寄付アドバイザーをご担当になられ、地区のみならず国際ロータリーの発展に多大なご貢献をされました。

この上は、これまでの偉大な西村パストガバナーの教えに従い、これを継承しご期待を裏切ることのないよう、心一つにして、ロータリーの発展、ひいては世界平和の実現のために尽力いたしますことを固くお誓い申し上げます。

なにとぞ安らかにお眠り下さいませよう心からお祈り申し上げます。

川端五兵衛



地区協議会 開催にあたって

(平成 21 年 5 月 9 日 京都国際会議場)

川端 五兵衛

本日ここに、国際ロータリー第 2650 地区協議会を開催いたしましたところ、皆様方におかれましては、公私ご多用の中、枉げてご参画賜り心から御礼申し上げる次第でございます。

ところで、只今司会からご報告申し上げました通り、去る 5 月 4 日西村二郎パストガバナーがご逝去されました。ここに改めて心から哀悼の誠を捧げるものでございます。振り返りますと、西村パストガバナーは単にロータリーの大先輩というだけでなく、常に様々なお話を通して、私たち後輩に、人として、社会人としての物の見方と判断基準をお教え下さいました。そして、そのスタンスはどのような課題に対しても、また何時いかなる時であっても、常にブレることはありませんでした。それは、西村パストガバナーの思想の背景に、天職とされた医業を通して築かれた倫理観に裏打ちされた哲学があったからだと思います。今、私たち

はいつも穏やかな木陰をつくり、あるべき社会の指針を説いてくださった大先輩を失いました。その悲しみの中で本日ここに国際ロータリー第 2650 地区協議会を開催する運びとなりました。この上は、これまでの偉大な西村パストガバナーの教えに従い、これを継承しご期待を裏切ることのないよう、今日一日有意義な会議でありますことを出席者の皆様とともにお誓い申し上げたいと存じます。

さて、本日はご多用の中、千玄室大宗匠を始め先輩パストガバナーの皆様並びにご来賓の方々をお迎えし、地区協議会を開催できますことに対し、高壇からではございますが、重ねて御礼申し上げる次第でございます。

さて、富田ガバナーエレクトにおかれましては、去る 1 月、米国カリフォルニア州サンディエゴでのハードな 8 日間を終えられ、1 月 31 日の地区委員長会議で「育てよう、人」を地区テーマとして発表され、事実上富田年度はスタート

されました。向こう一年間、どうぞ健康にご留意いただき、ガバナーとしてご活躍いただきますことをご祈念申し上げます。次第でございます。

今年度も残すところ僅か2カ月となりましたが、私は今日まで2650地区の目標を「次の世代にときめきを」とし、皆様と共に歩んできました。私たちにとって次の世代を担ってくれる人たちが、世界のそして地球の将来に対して目標を立てロマンとときめきを抱けるような環境を残すことこそ、何物にも代えられない最優先のテーマだからであります。木々の葉が、太陽の光の下で生い茂り、根に幹に花に実にと生涯をかけてそれらが必要とする全ての栄養素の生産活動にいそしみ、やがてわが身は色づき、未だ見ぬ若芽に後を託し落葉して行くのです。引き継いだ若葉は託された期待にロマンを抱き、風雪に耐えながら心ときめかせ、なすべき責務を果たしやがて次なるバトンタッチへと歩むものであります。このことは自然界にある木々にとっては至極当然のことです。しかし人間にとって、そして私たちロータリアンにとってはこれほど大切なことはありません。ましてや、西村大先輩を失った私たち当地区のロータリアンにとりましては、殊更の思いでございます。

ポールハリスが20世紀初頭に「世界は常に変化している。ロータリーはこの世界とともに変化して成長していかなければならない。ロータリーの物語は幾度も書き換えられなければならない」という有名な言葉を残しています。この言葉は、

その世紀末の1999年6月に開かれた主要国首脳会議におけるケルン憲章において、見事に実証されたのであります。そのケルン憲章を読んでみますと「生涯学習の目的と希望」という標題の下に「全ての国が直面する課題は、どのようにして、学習する社会となり、来世紀に必要とされる知識、技能、資格を市民が身につけることを確保するかである。経済や社会はますます知識に基づくものとなっている。人々への生涯学習への投資に対する見返りは、これまでになく大きいものであり、その必要性は雇用、社会経済、地域の不平等つまり格差の縮小のための鍵としています。そして教育と技能は、経済的成功、社会における責任、社会的一体感を実現する上で不可欠である。来世紀は柔軟性と変化の世紀と定義されるであろう。すなわち、流動性への要請がかかっていないほどに高まるだろう。今日、パスポートとチケットにより人々は世界中どこへでも旅することが出来る。将来には、流動性へのパスポートは、教育と生涯学習となるであろう。この流動性のためのパスポートは、すべての人々に提供されなければならない。」と唱えています。

富田ガバナーの地区テーマは「育てよう、人。」であり、まさに生涯学習の重要性が問われるわけであります。

本協議会が実りあるものとなりますよう、皆様のご協力をお願いいたしまして、私の開会の挨拶にかえさせていただきます。有難うございました。

文庫通信

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演から

(257号)

- ◎「異文化の架け橋」
柴田恭子 2008 2p (D.2610)
- ◎「浪漫なしで生きていけない」
三輪休雪 2008 10p (D.2710)
- ◎「地方発!! 人づくり国づくり」
川勝平太 2008 12p (D.2710)
- ◎「いくつになってもその気になれば一歩踏み出せる」
名取美和 2008 4p (D.2820)
- ◎「愛と勇気と感動と」
加藤タキ 2008 12p (D.2550)
- ◎「日本の底力」
麻生太郎 2008 12p (D.2650)
- ◎「人生って支えあえっこ」
牟田悌三 2008 10p (D.2700)
- ◎「ネット社会と子供の危機～心の発達は大人したい～」
柳田邦男 2008 19p (D.2700)

ロータリー情報として

(258号)

- ◎「他人の金で奉仕をするという虚構」
佐藤千壽 PG 遺稿 2009 8p (D.2790 月信)
- ◎「ロータリーを見直そう」
千 玄室 2008 8p (D.2650 地区大会)
- ◎「識字力あれど識智力のない日本」
佐藤千壽・深川純一 2008 18p (D.2680 地区大会)
- ◎「決議 23-34 その存続の危機」
田中毅 2008 12p (D.2710 IM 報告書)
- ◎「ロータリー理解推進月間にあたって」
戸田 孝 2009 1p (D.2660 月信)
- ◎「ロータリー理解推進月間(ロータリーの広報を考える)」
塚原房樹 2009 2p (D.2510 月信)
- ◎「ロータリー理解推進月間」
足立功一 2009 12p (D.2500 月信)
- ◎「ロータリー理解推進月間によせて」
三軒久義 2009 1p (D.2640 月信)

ロータリー文庫

[上記申込先: ロータリー文庫 (コピー / PDF)]

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前 10 時 ~ 午後 5 時 休館 = 土・日・祝祭日



混迷に思う

荒木 一寿
(福井北 RC)

過日、新聞（日本経済新聞 H21/3/23）の見開き 2 頁に大きく「**日本復活の鍵は地域力にあり - 福井に学ぶこれからの地域戦略**」と目立つタイトルがありました。福井在住の者として“地元も中々頑張るぞ”と些か良い気分でしたが良く見直すと上の欄に小さく“全面広告”の文字、広告だったかと少々残念でしたが、日々激しい経済変動に振り回されている現在、「日本変動期の正念場」であった幕末期の記事に興味を引かれました。

明治維新は福井にも歴史に名を残す優れた人達の輩出した時代でした。激動の時代、燃える熱意と実行力で時勢を乗り切った人達、その活力溢れる人間像と人を育てる一種不思議な幕末時代の雰囲気には憧憬すら感じます。それで、以前、気になって確か切抜きを残したと記憶する**西郷隆盛**の古い記事（日本経済新聞 H11/1/3）を探し出し再読したところ、混迷の今、改めて大変爽やかな感じを受けましたので、その一部をご紹介します。

社説「プライドを取り戻そう —日本再出発—」（原文）

“指導者”について語るとき、西郷隆盛を避けて通る事は出来ない。西郷ほど庶民の心をつかんだ指揮者は少ない。それはなぜなのか。志を貫き、見事に生き、見事に死んでいったからである。……（略）……参議・陸軍大将としての西郷の月給五百円。その半分を毎月、寄付し、そのほかにたまった金も寄付し、生活費は月に十五円だった。……（略）……その西郷は“指導者論”として幾つかの言葉を残した。百三十年後（記事当時）のいまでも読めば胸に迫る。

▼万民の上に位する者、己を慎み、品行を正しくし、驕奢を戒め、節儉を勉め、職事に勤労して人民の標準となり、下民その勤労を気の毒に思ふ様ならでは、政令は行なはれ難し。

▼租税を薄くして民を裕にするは即ち国力を養成する也。故に国家多端にして財用の足らざるを苦しむとも、租税の定制を確守し、上を損じて下を虐げぬもの也。

▼会計出納は制度の由って立つ所、百般の事業皆これより生じ、経綸中の枢要なれば慎まざらぬ也。その大体を申さば、入るを量りて出づるを制するの外更に他の術数なし。

▼節義廉恥を失ひて、国を維持するの道決してあらず。西洋

各国同然なり。上に立つ者下に臨みて利を争い義を忘るゝ時は、下皆これに倣ひ、人心忽ち財利に趨る。

▼命もいらず、名もいらず、官位も金もいらぬ人は、仕末に困るもの也。この仕末に困る人ならでは、艱難を共にして国家の大業は成し得られぬなり。……（西郷南州遺訓抜粋）

このところ日本社会の大きな問題は“品位”というものが感じられないということである。社会の指導者層が品位無き行動に走れば、子供たちはそれをまねる。“志高く生きる”ということ語るのが気恥ずかしいような乱れた社会になっているように思う。（以下略）

ご存じ“西郷南州遺訓”から抜粋、約十年前のコラムですが如何ですか？ 残念乍らそのまま現在への警告として新鮮に通用するようで考えさせられます。

幕末は傑出した人材が輩出する良き時代でもあったようです、当時は福井にも数々の人達が、それも多くは若い人達が名を残しています。藩政・幕政改革に功績の福井藩主「**松平春嶽公**」。十四歳の若さで“稚心を去る、気を振るう、志を立つ、学に勉む、交友を択ぶ、”と自己鞭撻の為の書“啓発録”を残した俊才「**橋本左内**」。福井藩の財政を立て直し、維新新政府の基本方針“五箇条の御誓文”の草稿作成、明治政府の御用金穀取扱方（現在の財務大臣）、東京府知事など歴任の「**由利公正**」。他にも「**橘曙覧**」、「**日下部太郎**」など多士済々です。今年は WBC で大活躍の“侍ジャパンチーム”が明るいニュースを残してくれましたが、難問山積する今、“国をリードする現代の人材”の輩出が望まれます。

ガバナー補佐としてこの 6 月で 1 年が経過します、ロータリー会員として学ぶ事は未だ多いのですがお陰でこの 1 年、意義あるロータリー再勉強の期間でもありました。人生は出会いの連続です、“人は出会いに生き、出会いに心動かす”と何かにありました。難儀な環境の現在、改めて感ずる先輩会員諸兄への感謝と、ロータリーの^{しょうよう}慈恵を更に心し、皆様との交流機会を一層有意義な時間として過させて頂きたいと願っています。

次年度もガバナー補佐として務めを与えられております。今後も何かとご指導ご協力頂きますようお願い申し上げます。（日経新聞記事転載承諾済み）

本年度のロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)は、PART IとPART IIの2回に分けての開催を予定いたしておりました。PART Iは昨年度と同様に地区大会と同時開催をさせていただきました。年に一度地区内のロータリアンが一堂に会する会場で、少しでもロータリーの雰囲気を感じていただこうという趣旨での開催でした。講師には、EQ理論を様々な手法により、理解しやすく講演いただける「EQ ジャパン」の高山 直先生をお招きしてのセミナーでした。すぐにでも実践いただける内容でしたので大変好評でした。



5月22/23/24日に予定しておりましたびわ湖バレイでのPART IIでしたが、5月大型連休明けの9日に日本での新型インフルエンザ初感染者、そして関西でも次々に広がっていく・・受講生からも開催の有無を確認する問い合わせが多くなってきた5月18日にガバナーとの協議の結果中止を決定いたしました。

受講生はもとより、参加を予定されていたロータリアンの皆様には、ご迷惑をおかけいたしましたこと心よりお詫び申し上げます。PART Iで親しくなった受講生の皆さん！来年度のRYLAには優先的にご案内をさせていただきますので宜しくお願いいたします。

国際ロータリー 第2650地区 新世代委員会
吉川 裕 丈

2009年4月会員の動き

◆新入会員

京都	木本 和秀	事務用品販売
京都紫竹	岸 泰夫	造作家具製造
園部	國府 久益	建設業
京都田辺	辻 智章	仏具製作販売
京都洛南	松川 信二	広告取扱
京都洛南	服部 直樹	広告業
宮津	三田 真史	通信社
宇治	下岡 智也	土木建設

峰山	大町 貞樹	日本料理
京都西南	守岡 伸佳	特別管理産業廃棄物処理コンサルタント
福知山西南	植田 徹	事務機器販売
京都中	竹田 卓也	雑貨記念品製造販売
奈良東	川口 勝久	紙製品製造
生駒	戸田 博之	証券業
奈良西	松山 悦啓	整形外科 医師
橿原	東荊 正広	百貨店

鯖江北	笹尾 昌敬	印刷業
丸岡	西川 政義	司法行政書士
福井北	田中 英明	生命保険
彦根南	平居 慎一	不動産業
大津	山口 晃司	ショッピングセンター
大津	木村 俊	酒類製造
栗東	中井 榮夫	農産物生産販売
守山	田中 良信	地方行政

弔 慰

謹んでお悔やみ申し上げます



京都洛東RC
野中 成夫 様
3月15日 ご逝去
72歳



東近江RC
上阪 保二 様
4月19日 ご逝去
57歳



京都西RC
浦田 保利 様
4月23日 ご逝去
79歳



武生RC
西野 剛 様
4月29日 ご逝去
76歳



綾部RC
梅垣 良作久 様
4月29日 ご逝去
79歳



京都RC
堀 信一郎 様
4月30日 ご逝去
66歳

2009年4月会員数の増減および出席率表

京都府 (42クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	4月末 会員数	期 首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率	女性 会員数
綾部	36	0	1	35	39	0	4	4	92.28	0
福知山	58	0	0	58	58	4	4	4	95.87	0
福知山西南	45	1	0	46	46	1	1	4	95.29	1
亀岡	39	0	0	39	40	1	2	3	100.00	0
亀岡中央	17	0	0	17	16	1	0	4	98.44	1
京都	193	1	2	192	194	15	17	4	97.48	0
京都伏見	94	0	1	93	91	7	5	4	86.63	3
京都平安	33	0	0	33	35	0	2	3	68.69	4
京都東	108	0	0	108	109	1	2	4	97.81	0
京都北東	36	0	0	36	32	5	1	4	89.51	0
京都市陽	31	0	0	31	30	3	2	4	91.91	0
京都桂川	37	0	0	37	36	2	1	4	96.72	0
京都北	70	0	0	70	69	3	2	4	96.94	0
京都南	220	0	1	219	223	8	12	5	93.40	0
京都モニング	52	0	0	52	54	1	3	4	84.03	3
京都紫野	62	0	0	62	61	3	1	4	100.00	0
京都市中	39	1	0	40	40	1	1	4	100.00	0
京都西	113	0	1	112	110	3	1	4	100.00	0
京都西山	21	0	0	21	22	0	1	5	88.77	0
京都乙訓	34	0	0	34	35	0	1	4	90.22	0
京都洛中	79	0	0	79	78	3	2	4	96.90	0
京都洛北	70	0	0	70	69	3	2	4	91.38	0
京都洛南	38	2	0	40	38	3	1	4	98.01	1
京都洛西	50	0	0	50	50	2	2	4	98.31	5
京都洛東	37	0	0	37	38	0	1	4	91.22	0
京都さくら	32	0	0	32	31	4	3	4	95.31	5
京都嵯峨野	26	0	0	26	27	0	1	4	83.00	0
京都西北	51	0	0	51	50	2	1	4	96.90	0
京都西南	56	1	0	57	61	1	5	4	96.77	7
京都紫竹	46	1	0	47	47	1	1	4	80.11	1
京都朱雀	41	0	0	41	42	0	1	4	93.04	1
京都田辺	24	1	0	25	24	1	0	5	93.47	2
京都東山	79	0	0	79	81	3	5	4	98.16	0
京都山城	39	0	0	39	41	1	3	3	97.17	0
京都八幡	29	0	0	29	30	0	1	4	91.79	1
舞鶴	28	0	0	28	30	0	2	4	99.04	0
舞鶴東	49	0	0	49	48	2	1	4	85.44	0
峰山	39	1	0	40	38	2	0	5	90.42	2
宮津	48	1	0	49	48	4	1	3	93.62	0
園部	28	1	0	29	30	1	2	4	100.00	0
宇治	40	1	0	41	41	3	1	3	98.20	0
宇治鳳凰	43	0	0	43	44	0	1	4	95.35	5
小 計	2,310	12	6	2,316	2,326	95	100	平均 4.0	平均 93.51	42

奈良県 (13クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	4月末 会員数	期 首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率	女性 会員数
五條	35	0	0	35	36	0	1	4	82.15	0
平城京	35	0	0	35	37	1	3	4	92.34	0
生駒	36	1	0	37	38	2	3	3	74.71	0
橿原	72	1	1	72	74	5	7	4	73.90	2
あすか	55	0	0	55	55	2	1	5	92.74	0
奈良	144	0	0	144	141	7	4	4	97.18	4
奈良東	44	1	0	45	45	2	2	4	97.09	0
奈良西	46	1	0	47	49	3	4	4	98.94	1
奈良大宮	66	0	0	66	65	2	1	4	94.52	0
王寺	25	0	0	25	26	1	2	4	87.90	2
桜井	51	0	0	51	50	3	1	4	88.88	0
大和郡山	49	0	0	49	51	1	3	3	89.61	0
大和高田	96	0	0	96	98	6	5	3	93.62	2
小 計	754	4	1	757	765	35	37	平均 3.8	平均 89.51	11

福井県 (19クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	4月末 会員数	期 首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率	女性 会員数
福井	123	0	3	120	128	7	15	4	65.44	5
福井あじさい	45	0	0	45	47	3	5	4	76.25	3
福井東	36	0	0	36	36	3	2	4	80.89	3
福井北	118	1	0	119	120	4	5	4	83.26	5
福井南	62	0	0	62	64	0	2	3	80.12	0
福井西	40	0	0	40	42	2	4	4	85.32	0
福井フェニックス	46	0	0	46	49	1	4	4	75.54	9
福井水仙	21	0	0	21	23	0	2	4	70.24	1
勝山	27	0	0	27	27	1	1	4	84.43	2
丸岡	35	1	0	36	34	3	1	4	87.75	0
三国	46	0	0	46	43	3	0	4	78.89	2
大野	25	0	0	25	25	1	1	4	86.81	2
鯖江	47	0	0	47	50	0	3	4	94.25	1
鯖江北	22	1	0	23	23	2	2	4	80.04	0
武生	64	0	1	63	63	2	2	4	80.33	2
武生府中	38	0	0	38	38	2	2	4	92.11	0
敦賀	47	0	0	47	46	3	2	4	92.27	0
敦賀西	22	0	0	22	24	1	3	3	86.36	2
若狭	34	0	0	34	32	4	2	4	99.26	0
小 計	898	3	4	897	914	42	58	平均 3.9	平均 83.13	37

滋賀県 (22クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	4月末 会員数	期 首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率	女性 会員数
びわ湖八幡	49	0	0	49	50	0	1	5	94.21	1
五個荘能登川	24	0	0	24	22	3	1	4	81.82	0
彦根	70	0	0	70	70	5	5	4	92.25	2
彦根南	62	1	0	63	66	3	5	4	94.13	0
湖南	33	0	1	32	37	1	5	4	93.33	1
草津	43	0	0	43	44	0	1	4	89.28	0
水口	45	0	0	45	49	0	4	4	96.67	1
守山	44	1	0	45	44	2	1	4	95.47	0
長浜	57	0	0	57	58	3	4	4	91.06	0
長浜東	69	0	0	69	65	4	0	4	94.51	0
大津	113	2	2	113	110	15	10	4	100.00	1
大津中央	34	0	0	34	35	1	2	4	85.29	1
大津東	24	0	0	24	24	1	1	4	84.87	1
大津唐橋	23	0	0	23	23	1	1	4	86.71	1
大津西	28	0	0	28	24	4	0	5	98.26	0
近江八幡	61	0	2	59	67	1	9	4	97.60	2
栗東	32	1	0	33	36	2	5	4	86.10	1
滋賀湖北	27	0	0	27	23	6	2	3	85.19	0
高島	42	0	0	42	42	1	1	4	97.84	1
野洲	39	0	0	39	37	5	3	3	89.76	1
東近江	55	0	1	54	56	3	5	4	85.94	0
八日市南	56	0	0	56	55	5	4	3	94.55	2
小 計	1,030	5	6	1,029	1,037	66	70	平均 4.0	平均 91.58	16

合計 (96クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	4月末 会員数	期 首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率	女性 会員数
合 計	4,992	24	17	4,999	5,042	238	265	平均 3.9	平均 90.47	106

■表作成にあたって

- ・会員数に、名誉会員は含まれておりません。
- ・入退会者数、4月会員数および入退会者累計数は、4月末日現在です。
- ・今年度の「期首会員数」は、平成20年7月1日現在の会員数です。

2008～2009 年度国際ロータリー第 2650 地区テーマ

「次の世代にときめきを」

●シンボルマーク紹介

RI2650 地区の四つのエリア京都府・奈良県・福井県・滋賀県が「次の世代にときめきを残すためには基礎となる土台が必要です。ロータリーの四大奉仕部門、クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕を「心を持った一つの土台」と考え、協力・平和・柔軟性・思いやりの四つの観点から4色のイメージカラーで表現しました。

シンボルマークデザイン 鈴木大義



2650地区の情報満載! <http://www.rid2650.gr.jp/>
～08-09年度地区ホームページ～

国際ロータリー第 2650 地区のホームページをご覧になっていただけたでしょう。

08-09 年度のホームページが公開されています。

地区の概要・組織、地区内クラブ、年間行事予定、例会変更情報、ダウンロードセンター等々、ロータリーの様々な情報を公開しておりますので是非ご覧下さいませ。

また 07-08 年度に引き続き、「月信α (アルファ)」のサイトも新しく開設いたしました。各クラブ公式訪問の報告や委員会報告、各会議報告等も随時更新し地区内の情報を皆様に公開させていただきます。また、クラブ奉仕活動等も公開させていただきますので、原稿・記事・写真の投稿をお待ちしております。

原稿・写真はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

広報・月信地区幹事 一伊達 (事務局 筑摩) まで



<表紙によせて>

夢をかきたてるロマン、「ときめき」の対象であるロマンをきらめくハートで表現し、それを求めて幼な子が手さぐりを始めた様子を書くことで次の世代を担う若人が志を立て理想の実現に向ってときめいて行くことへの期待をこめている。

「ときめき」は与えられるもではなく、自ずから湧き出ずるものであり、その源泉を穿つのは他ならぬ自分自身である。

ロータリアンの使命は、次の世代のためにこの源泉が至る処にちりばめられた世界を残すことである。

これこそロータリアンにとって、死に甲斐に値するのではないだろうか。

川端 五兵衛 記

「表紙の制作にあたって」

未来へ向けて成長しようとする子どもの力と、それをあたたかく見守り育てていこうとする親や地域の人々との心のふれあいをやわらかく、あたたかいイメージの中に表現しました。

未来を育てることの大切さというメッセージをみなさまに伝えることができればという思いで、制作させていただきました。

表紙デザイン 小寺 寿



Kyoto/Nara/Fukui/Shiga
R.I.D.2650
2008-2009

国際ロータリー第2650地区

2008-2009年度 ガバナー 川端 五兵衛

■ガバナー 事務所

〒523-0892 滋賀県近江八幡市出町413-5

Tel.0748-31-2650 Fax.0748-31-2651

E-mail:gov08-09.2650@joy.ocn.ne.jp